

研修報告書 No.13

県外病院初期臨床研修医

研修先： 土佐市立土佐市民病院

2019年10月1日から10月31日までの1ヶ月間、地域医療研修として土佐市民病院を主体に3つの近隣病院及び特別養護老人ホームで研修を行わせていただきました。その研修についての報告をさせていただきます。

土佐市は高知県の中中部で3つある大きな都市の1つと言われており、その医療の中核を担うのが土佐市民病院です。病床は150床あり、地域包括ケア病床54床を含みます。県庁のある高知市からは車で約40分の距離にあり、電車は中心街から少し離れたところを通っており、主な交通手段は車となっています。

まずは、土佐市民病院での研修について報告いたします。土佐市民病院では入院患者さんの病棟業務だけでなく、週に何度か外来を担当する日がありました。今までの外来経験は救急外来だけでしたので、たくさん勉強することがありました。緊急で治療介入が必要な疾患にフォーカスを当てて診察に当たる救急外来とは異なり、緊急性の低い慢性疾患に対しての治療介入をし、数週間後の定期フォローまで自分で行うことができました。何度か外来フォローさせていただいた方は、自分で開始した治療が果たして効果があったかが診察して分かり勉強になりました。今までよりも、患者さん一人一人で本当に必要な血液検査の項目は何か、を吟味するようになりました。

外来で入院が必要と判断した患者さんは、指導医の先生方の下で、入院から退院、さらには退院後の再診まで自分が主体となって担当させていただきました。今まで最初から最後まで自分が主体となって治療計画を立てる機会は少なかったもので、勉強になりました。自分が主体となると、今まで受け身の姿勢で決めていた血液検査の再検や退院の時期などの判断がとても難しく、責任を感じました。また、退院後の外来に元気な姿で来てくださる患者さんにお会いすると、医師として働くことのやりがいを感じられました。入院から退院まで、医師だけでなく、医療スタッフの皆様の協力があってこそスムーズに進むということが、よくわかりました。

次に、近隣病院での研修についてです。近隣病院での研修として井上病院、ひろせクリニック、伊与木クリニックの3施設に行く機会がありました。近隣病院の先生は本当に面倒見が良く、研修期間中に何度か食事にお誘いいただきました。美味しい食事に舌鼓を打ちながら、先生方の仕事への思いや経歴についてお話を伺うことができ、自分の医師としての将来の道筋が以前よりも明確になりました。ある病院では訪問診療にご一緒させていただく機会がありました。軽自動車でないといけないような狭い道を通る必要がある所が多くありました。車で片道30分近くかかる家もありました。開業している診療所での仕事を終え

てからそのような家に向かうことになり、患者さんの医療へのアクセスが難しいだけでなく、診療する医師の負担もかなり大きくなっている印象でした。現在、土佐市付近では地域の中核となる入院施設のある病院が閉院や縮小となり、十分な医療の提供が難しくなりつつある地域が増えていると聞きました。車がないと医療機関の受診が難しい地域では、医師が各家庭を訪問するのには限界があり、地域ぐるみの取り組みとして、患者が医療機関に受診しやすくする必要があったと感じました。

休日には高知県の美味しいもの、素晴らしい大自然、地元の方々の心温まる優しさに触れることができました。高知県での地域医療研修は自分の研修医生活の中で最も実りある研修のうちのひとつとなりました。お世話になりました関係者の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。